

2017年8月5日(土)
夏休み朗読会「朗読だから面白い！真夏の怪談話」



真っ暗闇に1つのライト、緊迫感漂う静寂の中で、物語が語られます…

真夏の恒例イベントとなった、ちょっと怖くて楽しい怪談話の朗読会が、この夏も開催されました。出演いただいた「こうぼこの会」の皆さんは、視覚障害者を中心としたトークパフォーマンス集団です。用意した椅子がすべて埋まり、今年もたくさんの方にご参加いただきました。

♪かごめ かごめ♪がウクレレでゆっくりと、ポロンポロンと奏でられ、繰り返されるフレーズはだんだんと、低く、重く、音階を落としていきます…。音色の余韻の残る中、真っ暗な部屋に小さなライトの明かりが灯されて、朗読が始まりました。

日本の昔話や外国の話、学校の怪談や日常の中の怖いお話など、様々な怪談話が語られます。お話の終わりの合図の「チーン」という鈴の音が鳴ると、恐怖から解放されて安堵のため息が。前半最後の「赤い目がやってくる」(金治直美/著)というお話では、時折り光るレーザーポインターの2つの赤い点が「目だ!」と気付いてからはもう大変。消えても何度も出てくる「赤い目」に追い詰められる怖さといったことはありません。「チーン」という音に会場全体が大きな解放感に包まれ、同じ恐怖を共有した一体感が生まれていました。

休憩をはさんでの後半は、部屋を明るくして紙芝居からスタート。そしてまた会場は暗くなり、再び恐怖の世界へ。最後のお話は「悲しみのカトリーヌ」。どこまでも追ってくる人形の怖いお話に、あっという間に時間が過ぎて行きました。

「叫び声や読み方がこわかった」「娘は一人で寝られなくなりそう」といった声や、「朗読のみなさんの声がすばらしかった。臨場感もたっぷり」「こうばこの会の朗読会、続けてください」など、朗読された「こうばこの会」への賞賛の声を数多くいただきました。トークパフォーマンスの素晴らしさに感動されたというご意見も多く、生で聞く声の迫力を満喫されたようでした。

怪談朗読会は花火や夏祭りに負けない夏の楽しみの1つです。来年の夏も開催する予定ですので、まだ体感されていない方も、2度目3度目と足を運んでくださる方も、ぜひご参加ください。

【主な演目】

★ 「ちいちゃい、ちいちゃい」
(『イギリスとアイルランドの昔話』より) ★

★ 「きもだめし」
(『怪談レストラン 9』より) ★

★ 「オテサーネク」
(『怪談オウマガドキ学園 12』より) ★

★ 「あの中であそぼ」
(『文豪てのひら怪談』より) ★

★ 「怪談をつくる話」
(『現代の民話おばけシリーズ 1』より) ★

★ 「赤い目がやってくる」
(『平成うわさの怪談 8』より) ★

★ 休憩 ★

★ 『じいさまときつね』
増田尚子 文／二俣英五郎 絵 ★

★ 「幽霊滝の肝試し」
(『日本のゆうれい話』より) ★

★ 「悲しみのカトリーヌ」
(『平成うわさの怪談 22』より) ★

★ **【こうばこの会】** ★

★ 昨年度の怪談朗読会でも好評をいただいた
視覚障害者を中心とした
トークパフォーマンス集団です。 ★

★ お楽しみに！ ★



今回の演目です（府中市立図書館に所蔵が無い本もあります）。